令和８年 11 月 4 日
沖縄県こども未来部こども家庭課

質問書に対する回答

NO	仕様書箇所等	質問内容	回　答
1	仕様書「4 業務の内容」-「(1) マニュアル構成案策定」等	（検討委員会の開催形式について） 仕様書記載の検討委員会について、委員の移動負担軽減や効率的な意見集約の観点から、対面開催に加えて「オンライン（Zoom等）開催」や「対面とオンラインのハイブリッド開催」とすることは可能でしょうか。	検討委員会の開催形式については、委員相互の十分な意見交換や円滑な議事進行に支障がない範囲において、オンライン開催（Web会議システム等）や対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催とすることも可能です。 ただし、実際の開催形式や使用ツールについては、県と協議・調整のうえ決定することとなります。
2	仕様書「4 業務の内容」-「(1) マニュアル構成案策定」等	（委員の所在地・圏域について） 旅費等の積算算出のため、委嘱を想定されている検討委員のおおよその所在地や所属圏域（島外・離島・北部・中南部など）をご教示いただくことは可能でしょうか。	想定している検討委員の所在地は以下のとおりです。 県内大学教授２名：本島中南部 支援コーディネーター５名： 南部１名、中部１名、北部１名、宮古島市２名
3	仕様書「4 業務の内容」-「(1) マニュアル構成案策定」等	（検討委員会の会場確保について） 対面で検討委員会を開催する場合（令和8年度および令和9年度）、県庁内の会議室等を利用することは可能でしょうか。それとも受託者側で民間貸会議室等を手配・費用負担する想定でしょうか。	令和８年度の検討委員会については、仕様書記載の【検討委員会日程（予定）】のうち、第１回、第２回及び第４回については県庁会議室（定員20名）を利用可能です。 それ以外の開催（第３回等）については、県庁会議室の空き状況等により利用できる場合もありますが、原則として受託事業者において外部会場（民間貸会議室等）の手配及

			び必要な経費の負担を行っていただく想定となります。
4	仕様書「4 業務の内容」-「(1) マニュアル構成案策定」等	（令和9年度の検討委員会等の想定について） 令和8年度の構成案策定にあたり、令和9年度のスケジュールや制作計画を提示する必要がありますが、現時点で県が想定されている令和9年度の検討委員会の開催回数や規模感があればご教示いただけますでしょうか。	令和９年度の検討委員会の開催につきましては、作成した素案の内容確認や意見集約等のため、令和８年度と同等の体制・規模で概ね２回程度の開催を想定しております。 ただし、より効果的なマニュアル作成や合意形成を図るうえで、事業者において追加の開催や異なる規模等が必要と判断される場合は、そのようにご提案ください。